

資料

資料から見る地震の

記録

記録

厚真町

地震の回数（震度3以上の地震回数：平成30年9月6日～平成31年3月31日）

観測点	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4	震度3	合計
京町	0	1	0	0	1	4	16	22
鹿沼	1	0	1	0	2	18	38	60

【出典】気象庁ウェブサイト(震度データベース検索)

人的被害（令和3年1月31日現在）

死者	負傷者		
	重傷	中等症	軽傷
37名(災害関連死1名を含む)	0名	0名	61名

建物被害（令和3年1月31日現在）

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
住家	235棟	70棟	267棟	1,096棟	1,668棟
非住家	687棟	160棟	509棟	816棟	2,172棟

火災

種別	非住家
件数	2件
焼損面積	77.23m ²

主な公共施設等の被害

施設名	場所(地区)	主な被害
富里浄水場	富里	土砂流入、配水池階段室の倒壊、配水管の断裂など
高齢者生活自立支援センター「ならやま」		土砂崩れによる流失
旧みつば保育園		
吉野生活会館	吉野	
厚真中学校	新町	屋外運動場・野球場の地割れ
旧鹿沼小学校	鹿沼	亀裂、地割れ
表町公営住宅2号棟	表町	渡り廊下の破損
厚真町スポーツセンター	本郷	

ライフラインの被害

【電気】

地 区	停電期間	復旧状況など
全域で停電	9月6日～9月8日	土砂崩れなどにより立ち入りが困難な地域を除き、9月8日までに停電解消

【水道】

地 区	断水戸数	断水期間	復旧状況など
厚真地区	1,188戸	9月6日～10月9日	・富里浄水場の損壊、水道管の破損による断水 ・土砂崩れなどで立ち入り困難な地区を除き、10月9日までに断水を解消
上厚真地区	753戸	9月6日～9月24日	

【道路】

種 別	規制数	通行止め期間	被害・復旧の状況
国 道	なし	—	—
高規格道路	1路線	9月6日～9月9日	高規格道路の路面破損
道 道	5路線	9月6日～11月13日	土砂崩れ等3路線、橋梁破損2路線
町 道	25路線	9月6日～9月28日	土砂崩れなどにより立ち入りが困難な4カ所をのぞき、通行止め解除

【公共交通機関】

種 別	路線・事業者	被害・復旧の状況
鉄 道	JR日高線 (勇払～浜厚真)	<ul style="list-style-type: none"> ・軌道変位・橋梁の桁ずれ ・運行休止期間：9月6日～11月18日 ・11月18日までに復旧工事完了 ・11月19日から徐行運転により運行再開 ・令和元年8月6日から徐行運転を解除
バ ス	あつまバス	<ul style="list-style-type: none"> ・運行休止期間：9月6日～9月7日 (道道10号線土砂崩れのため通行止め) ・9月8日から千歳線・苫小牧線迂回による運行再開 ・9月18日から全線迂回による運行再開
ハイヤー	あつまバス	・9月10日から運行再開
循環バス	めぐるくん	・9月10日から運行再開(通行止め区間を除く)

農林水産業の被害

【農業】

区分	被害状況等
農地	95 力所 155.31ha
農業用施設	69 力所
農業機械・施設	183 戸
共同利用施設	8 力所
その他	国営勇払東部地区かんがい排水事業 厚真ダム(頭首工 1 力所・揚水機 1 力所・導水路 18.2km)

【林業】

区分	被害状況等
林道	15 路線(大規模な山腹崩壊等により林地、林道の破損などが発生)
森林	3,160ha

【港湾】

区分	被害状況等
漁港 (東港区)	苫小牧港東港区厚真地区(L=110.0m)：法線迫り出し、アスファルト舗装ひび割れ 苫小牧港東港区厚真地区(L=605.22m)：法線迫り出し

※苫小牧港湾事務所調べ

【水産関連施設】

区分	被害状況等
鷗川漁協施設(厚真地区)	漁船用燃料給油施設の漏洩・土壌汚染

商工業の被害

区分	被害内容
商業	建物(9 件)、機械設備・什器備品等(14 件)、商品・原材料製品等(13 件)
工業	建物(1 件)、機械設備・什器備品等(6 件)、商品・原材料製品等(2 件)
その他	機械設備・什器備品等(47 件)

被害金額

被害対象	被害金額
公共土木施設(道路、河川、橋梁、上下水道)	188 億円
農業関係(農地、農業用施設、共同利用施設)	110 億円
林業(林道、森林被害)	458 億円
その他(商工業、宅地堆積土砂、災害廃棄物等)	67 億円
合計	823 億円

※国、北海道が実施する事業は含まない

避難指示（緊急）・避難勧告

【避難指示（緊急）】

地 区	発令目的	対象世帯・人数	発令日時	解除日時
東和	土砂災害の危険性	1世帯・3人	9月11日14:00	9月18日18:00
宇隆	土砂災害の危険性	2世帯・5人	9月11日14:00	9月18日18:00
新町	土砂災害の危険性	3世帯・4人	9月13日12:56	10月14日9:00
新町	土砂災害の危険性	2世帯・3人	9月13日17:00	10月13日9:00
吉野	土砂災害の危険性	8世帯・15人	9月23日18:00	11月8日9:00

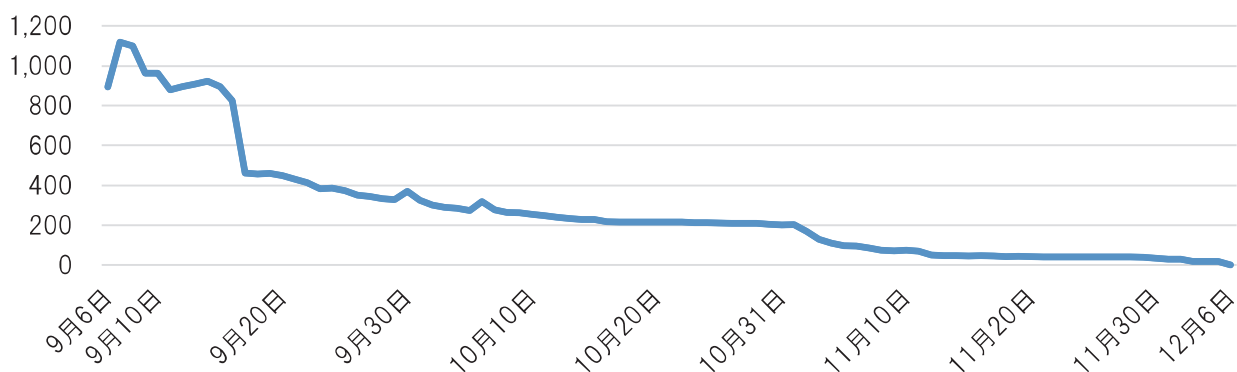
【避難勧告】

地 区	発令目的	対象世帯・人数	発令日時	解除日時
新町	土砂災害の危険性	7世帯・17人	9月9日16:00	10月8日9:00
新町	土砂災害の危険性	2世帯・3人	9月13日12:56	10月11日8:00

避難所の状況

施 設	最大避難者数	開設期間
総合福祉センター	633人	9月6日～12月6日
スポーツセンター	140人	9月6日～12月6日
厚真中央小学校	160人	9月6日～11月7日
厚真中学校	136人	9月6日～11月7日
厚南会館	130人	9月6日～10月24日
上厚真小学校	43人	9月6日～11月5日
鹿沼マナビィハウス	23人	9月6日～11月30日

〔避難者数の推移〕



仮設住宅等

区 分		最多世帯数	最多人数
建設型仮設住宅	プレハブ住宅	127 世帯	289 人
	トレーラーハウス	8 世帯	17 人
借上型仮設住宅(みなし仮設住宅)		18 世帯	30 人
公営住宅一時使用		27 世帯	63 人
トレーラーハウス(町)		3 世帯	7 人
福祉仮設住宅(厚真地区1箇所)		—	108 人
合 計		183 世帯	514 人

教育機関の再開

学 校 名		授業再開日
小 学 校	厚真中央小学校	9月18日
	上厚真小学校	
中 学 校	厚真中学校	
	厚南中学校	
高等学校	北海道厚真高等学校	

災害廃棄物処理の状況

【災害廃棄物処理業務】

事業費	18億9,867万円	主な廃棄物	がれき(コンクリート・アスファルト)	10,217t
処理量	22,750t		木くず(解体木)	3,896t
			混合廃棄物(鉄くず等)	5,794t

【被災家屋等解体業務】

	全 壊	大規模半壊	半 壊	合 計
公費解体	148 棟	14 棟	46 棟	208 棟
自費解体	3 棟	0 棟	3 棟	6 棟
合 計	151 棟	14 棟	49 棟	214 棟

関係機関等からの応援派遣（平成 30 年 12 月 31 日現在）

支援機関等		延べ人数	支援内容等	
国	国土交通省	北海道開発局	リエゾンの派遣、ダム・河川対策、河道閉塞対策、砂防対策、タイムライン策定・運用、給水支援等	
		気象庁	JETT の派遣、防災気象情報提供、タイムライン策定・運用等	
	総務省	北海道総合通信局	移動電源車、簡易無線機、ラジオ、臨時災害放送局用設備通信機器貸与、情報収集用ラジオの貸与等	
	厚生労働省		DMAT(災害時医療)・DPAD の派遣(心のケア等)、保健師の派遣	
	環境省		災害廃棄物現地支援チームの派遣	
北海道内		北海道	6,480 人	リエゾンの派遣、避難所運営、り災証明書交付
		道内市町村	1,530 人	土木・上下水道技術支援、応急水道、物資・環境業務
対口支援等		青森県	1,337 人	災害対策本部運営支援、避難所運営支援(運営アドバイス、運営支援等)、り災証明証書交付業務支援
		山形県		
		福島県		
警察			7,400 人	人命救助、交通対策、治安維持 ※北海道警察から約 3,800 人、道外から特別派遣として約 3,600 人が厚真町を含め、道内における救助・救出、交通対策、治安維持に従事
消防			4,669 人	緊急消防援助隊(秋田、青森、岩手、宮城、東京都)の派遣、人命救助・救護、
自衛隊		陸上自衛隊	14,359 人	人命救助、道路啓開、給水・入浴・給食・輸送支援
		航空自衛隊		人命救助、道路啓開、給水支援
		海上自衛隊		物資供給・入浴・給食支援
合 計			30,165 人	

※支援者の人数が判明している機関のみ記載

災害ボランティアの活動状況

設置日	平成30年9月7日～令和2年12月31日	
運営	運営主体：厚真町社会福祉協議会 協力機関：北海道社会福祉協議会、道内各市町村社会福祉協議会、北海道JC、北海道、北海道社会福祉士会など	
主な活動内容	<p>【災害ボランティアセンターの活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各戸チラシポスティング ・避難所の清掃 ・家財の運搬・整理・清掃 ・災害ごみ運び出し・運搬 ・トタン直し等家屋の補修 ・託児支援補助 <p>【外部団体(NPO等)と連携した支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒壊家屋等からの家財、貴重品等の取り出し ・災害ボランティアセンター運営支援(受付、調査、相談、資材管理) ・エゾシカ侵入防止柵設置支援 ・炭窯再建プロジェクト ・地域の神社の修理、技術支援 ・専門職によるニーズ調査(医療・福祉) <ul style="list-style-type: none"> ・支援物資運搬・仕分け・整理 ・家屋・納屋等の片付け ・炊き出し支援 ・サロン・つどいの開催支援 ・仮設住宅引越し支援 ・郷土資料片付け・整理 	
ボランティア活動概況	延べ5,504人	1,229件
社会福祉協議会からの派遣	市町村社会福祉協議会派遣：延べ399人(41団体) 北海道社会福祉協議会派遣：延べ40人 ※平成31年3月31日現在	

復旧事業の進捗状況 (令和3年1月31日現在)

区分	事業数	発注		完了		完了年月(予定)
		事業数	発注率	事業数	完成率	
河川	60	60	100.0%	43	71.7%	R4.3
道路・橋梁	175	175	100.0%	173	98.9%	R4.3
公園	5	5	100.0%	5	100.0%	R1.10
治山	142	92	64.8%	73	51.4%	R6.3
砂防・急傾斜	12	12	100.0%	10	83.3%	R3.3
宅地堆積土砂	6	6	100.0%	6	100.0%	R2.3
簡易水道施設	5	5	100.0%	5	100.0%	R2.11
下水道	4	4	100.0%	4	100.0%	R2.3
宅地耐震化	2	2	100.0%	0	0%	R6.3
農地	86	86	100.0%	85	98.8%	R2.5
農業用施設	62	62	100.0%	62	100.0%	R2.3
林道	28	24	85.7%	24	85.7%	R4.3
合計	587	533	90.8%	490	83.5%	—

※北海道と町事業の合計

ふるさと納税（代理受付）

8 団体	北海道、北海道余市町、北海道白糠町、茨城県、茨城県境町、埼玉県深谷市、東京都世田谷区、福岡県大木町
------	---------------------------------------------------

主な支援制度等

主 体		制 度 等
生活支援・弔慰金等	国	被災者生活再建支援制度
	北海道	災害弔慰金
	厚真町	災害弔慰金・災害障害見舞金
住まい・施設等に関する支援	国	被災代替家屋の特例(固定資産税)、被災代替償却資産の特例(固定資産税)
	北海道	住家被害見舞金
	厚真町	厚真町住宅復旧支援事業補助金、厚真町住宅再建融資利子助成、厚真町リバースモーゲージ利子助成、住宅リフォーム補助金、厚真町持ち家住宅建築促進支援助成金、一部損壊以上の家屋等の解体費補助、飲用井戸等給水施設整備事業補助金、農業用井戸等給水施設整備事業補助金
	その他	災害復興住宅融資、住宅ローンの返済(自然災害債務整理ガイドライン)
減免等による支援	個人の町民税の減免、固定資産税の減免、令和元年度分の解体家屋にかかる税金の減免、国民健康保険料の減免、後期高齢者医療保険料の減免、地震により汚損、紛失した自動車運転免許証の再交付手数料、町が発行する各種証明の発行手数料の免除、国民年金保険料の減免、児童扶養手当の停止解除、医療機関受診時の一部負担金免除(国民健康保険・後期高齢者医療保険)、飲用井戸の水質検査・手数料補助、介護保険料の減免、開発許可申請等手数料の免除	

義援金・支援金（令和3年1月31日現在）

区 分	金 額
町災害義援金	8 億 7,959 万円
北海道災害義援金	6 億 1,750 万円
支援金	2 億 339 万円

安平町

地震の回数（震度3以上の地震回数：平成30年9月6日～平成31年3月31日）

観測点	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4	震度3	合計
早来北進	0	1	0	0	1	7	25	34
追分柏が丘	0	1	0	1	0	7	28	37

【出典】気象庁ウェブサイト(震度データベース検索)

人的被害（令和3年1月31日現在）

死者	負傷者		
	重傷	中等症	軽傷
0名	7名	0名	10名

建物被害（令和3年1月31日現在）

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
住家	93棟	56棟	310棟	2,481棟	2,940棟
非住家	343棟	62棟	493棟	2,178棟	3,076棟

主な公共施設等の被害

区分	施設名	被害状況
役場庁舎	役場総合庁舎	庁舎中央部分沈下、玄関破損、庁舎裏法面ひび割れ等
	役場総合支所	外構沈下による通路部分インターロッキング破損
商工観光施設	道の駅あびら	SLピット・外構の沈下、壁面クロス等の剥離
	物産館	商品・食器等
	ときわ公園	園内のクラックや法面崩壊、滑り台等遊戯施設破損等
	鹿公園	池周辺の護岸崩壊、パークゴルフ場法面崩壊等
公立学校施設	追分小学校	外壁・内壁クラック、窓ガラス・シャッター破損等
	安平小学校	非常放送設備アンブ破損、体育館照明器具破損等
	早来小学校	外壁・内壁クラック、窓ガラス・給水管破損等
	遠浅小学校	内壁クラック、窓ガラス・給水管・浄化槽破損等
	追分中学校	床クラック、内壁・天井破損、体育館吊り天井破損等
	早来中学校	天井破損、梁型モルタル剥離、グラウンドクラック等
社会教育施設	追分公民館	敷地内法面地滑り、内壁ひび割れ、暖房・給湯管漏水等
	安平公民館	多目的ホール天井材破損、内壁ひび割れ・亀裂等
	早来公民館	給水管漏水、図書室書架破損、高圧電気設備破損等
	遠浅公民館	研修室前廊下内壁亀裂
	早来研修センター	窓ガラス・外壁破損、基礎と上部鉄骨造の取合い破損等
	郷土資料館	(追分)(早来)館内展示物被害、壁・天井等破損等
社会体育施設	スポーツセンター	法面表層崩壊、ボイラー故障、プール天井材脱落等
	町民スケートリンク	夜間照明柱傾斜、リンク内ひび割れ等
	ときわ球場	グラウンド液状化・ひび割れ、擁壁・フェンス破損等
	柏が丘球場	グラウンドひび割れ、ナイター照明の故障等
	テニスコート	(追分)(早来)地割れ、フェンス破損等
	追分プール	ガラス一部破損、ろ過装置故障
	安平山ろく交流センター	正面玄関扉破損、内壁破損、外部手摺破損等
	安平山スキー場	リフト支柱脱索、ヒュッテ屋根剥がれ・天井雨漏り等
福祉施設	合宿所	(さかえ)(しらかば)内壁・外壁ひび割れ、食器類破損等
児童福祉複合施設	(追分)(早来)玄関アプローチの亀裂、遊具の損壊等	
厚生労働施設	労働会館	大広間天井崩落、事務所内壁崩壊等
産業関連施設	臨空工業団地内専用水道	高架水槽のコンクリート部のひび割れ等

ライフラインの被害

【電気】

地 区	停電期間	復旧状況など
全域で停電	9月6日～9月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追分地区 1,767 戸、早来地区 2,439 戸で停電 ・ 断線、電柱倒壊の被害もあり ・ 9月18日 16:30 頃に完全復旧

【水道】

地 区	断水戸数	断水期間	復旧状況など
追分地区	1,628 戸	9月6日～9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全世帯で断水(本管損傷等による) ・ 発災後、9月末を目標に復旧着手し、9月29日に断水解消 ・ 断水中は給水車を配置(国土交通省・陸上自衛隊・応援市町給水タンク車)
早来地区	1,965 戸	9月6日～9月28日	

【道路】

種 別	規制数	通行止め期間	被害・復旧の状況
国 道	なし	—	—
高速道路・高規格道路	1 路線	9月6日～9月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道東自動車道 千歳恵庭 JCT～占冠 IC ・ 緊急点検及び復旧工事完了後に規制解除
道 道	2 路線	9月6日～9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千歳鷺川線、北進平取線の通行止めを9月19日に解除
町 道	32 路線	9月6日～12月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追分地区 8 路線、早来地区 18 路線を通行止め、橋梁損傷 2 路線 ・ 土砂崩れなどにより立ち入りが困難な地域の 7 路線をのぞき、12月26日までに通行止めを解除

【公共交通機関】

種 別	路線・事業者	被害・復旧の状況
鉄 道	JR 室蘭線 (安平～追分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軌道変位が多数発生、ホーム変状、電柱傾斜 ・ 9月17日から徐行運転により運転再開 ・ 令和元年 8月6日から徐行運転を解除
	JR 石勝線 (追分～東追分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軌道変位が多数発生、信号用器具箱内の架台転倒、信号用機器室内の変圧器落下 ・ 9月14日から徐行運転により運転再開 ・ 10月24日から徐行運転を解除
バ ス	あつまバス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行休止期：9月6日～9月7日 (道道 10 号線土砂崩れのため通行止め) ・ 9月8日から9月20日まで迂回による運行再開 ・ 9月21日から通常運行

農林水産業の被害

【農業】

区 分	被害状況等
営農施設	215 件
農協等施設	7 件
農作物	15ha
家畜	665 頭/羽
畜産物	118t

【林業】

区 分	被害状況等
林道	林道等の破損
森林	一般民有林 114 力所(小班数)859ha(小班面積) 被害実面積 139ha(人工林 45ha、天然林 93ha、無立木地 1ha)
	道 有 林 203 力所(小班数)2,031ha(小班面積) 被害実面積 390ha(人工林 158ha、天然林 228ha、無立木地 4ha)

商工業の被害

区 分	被害内容
商 業	建物(58 件)、機械設備・什器備品等(36 件)、商品・原材料製品等(70 件)
工 業	建物(19 件)、機械設備・什器備品等(11 件)、商品・原材料製品等(5 件)
その他	建物(5 件)、機械設備・什器備品等(1 件)、商品・原材料製品等(3 件)

被害金額

被害対象	被害金額
河川、道路、橋梁、公園キャンプ場、遊具、野球場	78 億 7,300 万円
上下水道	10 億 1,549 万円
商工業	9 億 5,501 万円
農作物、農地、土地改良事業(ダム分を含む)	11 億 2,795 万円
斎場、墓地	5,860 万円
産業廃棄物処理費	8,720 万円
幼児教育施設(子ども園)	1,419 万円
学校教育施設	5 億円
社会教育施設	3 億 3,000 万円
合 計	119 億 6,144 万円

避難指示・避難勧告

【避難指示】

地区	発令目的	対象世帯・人数	発令日時	最終解除日時
早来北進	崩落の恐れ	14世帯・30人	9月6日6:45	令和元年11月22日8:30
早来北進		14世帯・23人	9月7日10:10	平成31年3月4日13:00
早来大町		10世帯・21人	9月7日17:15	9月16日6:00
追分柏が丘		11世帯・18人	9月7日18:42	令和2年2月13日8:30
追分柏が丘	土砂崩れの可能性	13世帯・26人	9月7日19:45	10月2日8:00
早来瑞穂	ため池越水の可能性	4世帯・9人	9月7日20:00	9月14日17:00
追分緑が丘	土砂崩れの危険性	2世帯・4人	9月9日9:56	9月20日17:00
追分本町		12世帯・15人	9月9日11:54	9月26日8:00
追分花園		1世帯・3人	9月9日13:47	9月20日17:00

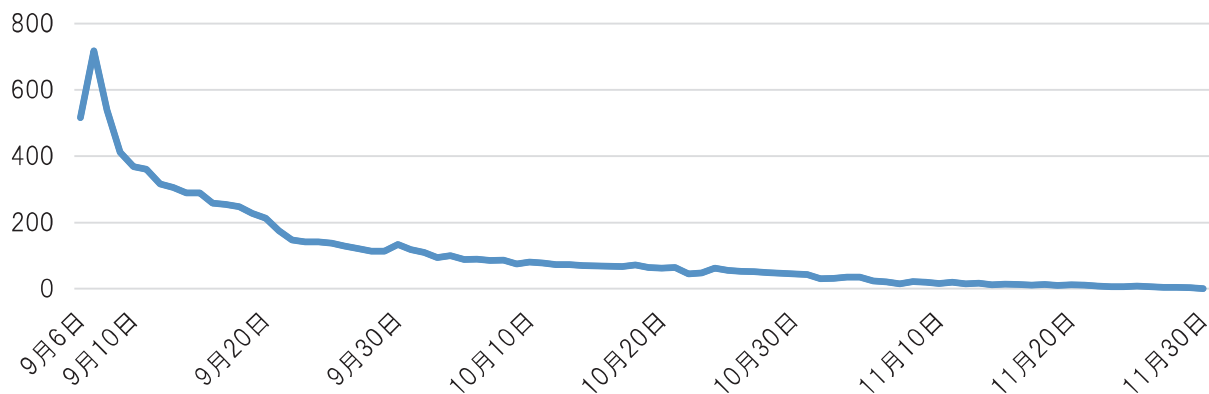
【避難勧告】

地区	発令目的	対象世帯・人数	発令日時	最終解除日時
東早来	地震で地盤がゆるくなった上、大雨予報で危険なため	15世帯・36人	9月7日15:00	9月13日11:00
早来新栄		5世帯・18人	9月7日15:00	9月13日11:00
早来富岡		3世帯・8人	9月7日15:00	9月13日11:00
早来栄町		23世帯・23人	9月7日15:00	9月8日8:00
追分緑が丘		10世帯・20人	9月7日15:00	平成31年3月4日13:00
早来守田 早来緑丘	集落孤立、土砂崩れの恐れがあるため	10世帯・32人	9月11日16:00	9月24日10:00

避難所の状況

施設		最大避難者数	開設期間	備考
早来	遠浅公民館	63人	9月6日～9月19日	
	早来小学校	180人	9月6日～9月12日	町民センター等へ集約
	スポーツセンター	31人	9月12日～10月5日	町民センターへ集約
	町民センター	200人	9月6日～11月10日	さかえ合宿所へ集約
	さかえ合宿所	12人	11月10日～11月30日	
	安平公民館	80人	9月6日～10月3日	町民センターへ集約
追分	追分公民館	152人	9月6日～11月3日	ぬくもりセンターへ集約
	追分小学校	5人	9月6日～9月7日	
	ぬくもりセンター	6人	9月9日～9月12日	青葉会館へ集約
		8人	11月3日～11月27日	集約のため再開所
	花園若草会館(自主)	87人	9月9日～9月22日	追分公民会館へ集約
青葉会館(自主)	40人	9月7日～9月22日	追分公民会館へ集約	

【避難者数の推移】



仮設住宅等

区 分		最多世帯数	最多人数
建設型仮設住宅	フレハブ住宅	追分	12世帯 26人
		早来	17世帯 36人
	トレーラーハウス	7世帯 19人	
借上型仮設住宅 (みなし仮設住宅)	町内	16世帯 32人	
	町外	28世帯 54人	
公営住宅一時使用		47世帯 77人	
モバイルハウス		8世帯 21人	
福祉仮設住宅(追分地区1箇所)		36世帯 36人	
合 計		171世帯 301人	

教育機関の再開

学 校 名		授業再開日	備 考
小 学 校	追分小学校	9月13日	追分中学校にて再開 翌年1月21日より小学校で再開
	安平小学校	9月13日	
	早来小学校	9月13日	
	遠浅小学校	9月14日	
中 学 校	追分中学校	9月13日	
	早来中学校	9月14日	早来町民センターにて再開 仮設校舎 12月27日完成
高等学校	北海道追分高等学校	9月18日	

災害廃棄物処理の状況

【災害廃棄物処理業務】

総事業費	821,499万円	主な廃棄物	がれき(コンクリート・アスファルト)	12,370t
処理量	17,434t		木くず(解体木)	2,045t
			不燃ごみ	1,647t

【被災家屋等解体業務】

	全 壊	大規模半壊	半 壊	合 計
公費解体	69棟	20棟	50棟	139棟
自費解体	11棟	8棟	16棟	35棟
合 計	80棟	28棟	66棟	174棟

関係機関等からの応援派遣（令和3年1月31日現在）

支援機関等		延べ人数	支援内容等
国土交通省		318人	TEC-FORCE 派遣(9月6日～10月9日) 被災状況調査、公共土木施設災害復旧の技術支援、橋梁緊急点検、気象情報提供など
北海道内	北海道	1,362人	平成30年9月6日～平成31年1月18日 災害対策本部運営支援28人、避難所運営支援1,184人、り災証明証交付支援70人、リエゾン派遣80人
	道内市町村	1,023人	平成30年9月6日～平成31年1月18日 り災証明証交付支援、被災家屋調査等
	短期派遣	5人	建設課1人(災害復旧 北海道) 税務住民課3人(災害廃棄物担当 北海道) 水道課1人(災害復旧 恵庭市)
	中長期派遣	5人	総務課復興・生活再建支援室1人 (北海道 平成30年11月5日～令和3年3月31日) 建設課1人(帯広市 平成31年1月7日～3月31日) 水道課1人(釧路市 平成31年1月15日～3月31日) 健康福祉課1人(函館市 平成31年4月1日～令和2年3月31日) 建設課1人(北海道 平成31年4月1日～令和3年3月31日)
	その他	228人	日本水道協会北海道地方支部(道内11市) 調査隊12人(9月8日～9月11日) 応急給水100人(9月8日～9月25日) 応急復旧116人(9月8日～9月29日)
対口支援等	岩手県	771人	9月6日～10月7日 災害対策本部運営支援51人、避難所運営支援291人、り災証明証交付支援380人、リエゾン派遣49人
	新潟県	500人	9月6日～10月7日 災害対策本部運営支援54人、避難所運営支援9人、り災証明証交付支援432人、リエゾン派遣5人
	その他	2人	新潟大学 田村教授(危機管理室) 富山大学 井ノ口准教授(都市デザイン学部) 専門的助言、現地支援
自衛隊		1,809人	給水590人(9月6日～9月29日：183.7t) 給食466人(9月6日～10月14日) 入浴526人(9月9日～10月4日：入浴者3,697人) 輸送(物流を含む)227人(9月10日～10月14日)

※支援者の人数が判明している機関のみ記載

災害ボランティアの活動状況

設置日	平成30年9月8日～令和2年12月31日	
運営	安平町社会福祉協議会が中心になり、学校法人リズム学園の協力・連携により運営	
活動内容	<p>【住民ニーズの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅等の片付け ・仮設住宅等への引越し支援 ・仮設住宅等訪問活動 ・入浴介助の個別生活支援 ・高齢者世帯安否確認と訪問によるニーズ調査(平成31年2月余震時) ・支援物資の提供 ・仮設住宅からの引越し支援 ・災害ごみの収集 ・通院の個別支援 <p>【行政等の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救援物資整理・配送支援 ・避難所運営支援(ごみ回収・炊き出し調整など) ・災害ごみ仮置き場の支援 ・広報号外の編集・印刷・全戸ポスティング ・自治会館・公共施設片付け(郷土資料館・図書館整理等) ・早来中引越し支援 ・公営住宅空き家清掃 ・給水所補助 ・公費解体に伴うごみ分別の支援 ・小学校登下校見守り支援 ・地区集会所掲示板設置、各種情報掲示 <p>【災害ボランティアセンター運営支援】 (受付・救護・データ入力・ニーズ訪問調査・電話対応など)</p> <p>【住民交流活動の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足湯サロンの開設 ・ミニコンサートの運営 	
ボランティア活動概況	延べ5,184人	694件
社会福祉協議会からの派遣	市町村社会福祉協議会派遣：264人(27団体) 北海道社会福祉協議会派遣：34人 ※平成31年3月31日現在	

復旧事業の進捗状況 (令和3年1月31日現在)

区分	事業数	発注		完了		完了年月
		事業数	発注率	事業数	完成率	
河川	10	10	100.0%	6	60.0%	R3.3
道路・橋梁	43	43	100.0%	43	100.0%	R3.1
水道	22	22	100.0%	22	100.0%	R1.12
下水道	10	10	100.0%	10	100.0%	R2.12
公園	6	6	100.0%	6	100.0%	R2.4
農地	4	4	100.0%	4	100.0%	R2.6
農業用施設	8	8	100.0%	6	75.0%	R3.3
合計	81	81	100.0%	75	92.6%	

ふるさと納税（代理受付）

5 団体	北海道、北海道白糠町、埼玉県深谷市、東京都世田谷区、静岡県小山町
------	----------------------------------

主な支援制度等

主 体		制度等
生活支援・弔慰金等	国	被災者生活再建支援制度
	北海道	災害弔慰金(北海道)
住まい・施設等に関する支援	国	災害救助法に基づく住宅の応急修理制度
	北海道	住家被害見舞金(北海道)
	安平町	被災者住み替え支援金、一部損壊住家修理金、墓石修理等見舞金、井戸修理等見舞金、浄化槽修理等見舞金、安平町自治会等災害支援金、町指定文化財への補助金、商工事業者等に対する災害見舞金
	その他	災害復興住宅融資
助成・減免等による支援	国民健康保険・後期高齢者医療費の一部の減免、水道・下水道基本料金の半額の減免、被災後の納期の末日に支払うべき税額の減免、安平町外の斎場使用における使用料の差額助成、被災した建物の減失申請、あびらネットサービスの利用料減免、公営住宅等使用料の減免、高齢者生活共同施設の使用料の減免、移住促進住宅使用料の減免、教員住宅使用料の減免、子ども園利用者負担額の減免	

義援金・支援金（令和3年1月31日現在）

区 分		件 数	金 額
町義援金		1,002 件	249,116,669 円
支援金	指定なし	158 件	260,857,841 円
	使途指定あり	36 件	22,941,394 円
	合 計	194 件	283,799,235 円

むかわ町

地震の回数（震度3以上の地震回数：平成30年9月6日～平成31年3月31日）

観測点	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4	震度3	合計
鷓川	0	1	0	1	1	6	25	34
穂別	0	1	0	0	1	7	22	31

【出典】気象庁ウェブサイト(震度データベース検索)

人的被害（令和3年1月31日現在）

死者	負傷者		
	重傷	中等症	軽傷
1名	27名	0名	250名

建物被害（令和3年1月31日現在）

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
住家	40棟	13棟	173棟	3,260棟	3,486棟
非住家	175棟	16棟	119棟	569棟	879棟

主な公共施設等の被害

施設名	場所(地区)	主な被害
鷓川高校生徒寮	文京(鷓川)	杭損傷・破断
文京ハイツ	文京(鷓川)	杭損傷・破断
四季の館	美幸(鷓川)	ホール、プール等施設損傷
穂別地球体験館	穂別(穂別)	展示施設内損傷 (平成31年3月31日閉館)
鷓川町民体育館	文京(鷓川)	壁面等損傷
宮戸小学校	宮戸(鷓川)	体育館床面等損傷
穂別小学校	穂別(穂別)	体育館窓ガラス等損傷
穂別スポーツセンター	穂別(穂別)	壁面・天井部等施設内外損傷
鷓川斎場	汐見(鷓川)	火葬炉(2基)損傷

ライフラインの被害

【電気】

地 区	停電期間	復旧状況など
全域で停電	9月6日～9月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・9月7日から順次通電 ・穂別地区は、9月14日に電源車から送電線に切り替えて通電完了

【水道】

地 区	断水戸数	断水期間	復旧状況など
穂別地区	最大 1,031戸	9月6日～9月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・穂別地区は9月12日に全面復旧 ・鷺川地区は水圧の低下や濁り水が発生
鷺川地区	0戸	—	

【道路】

種 別	規制数	通行止め期間	被害・復旧の状況
国 道	なし		・鷺川橋(旧橋)使用休止
高速道路・ 高規格道路	1路線	9月6日～9月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路の路面破損 ・9月9日までに沼ノ端西IC～日高厚賀ICの復旧工事完了
道 道	2路線	9月6日～10月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳鷺川線、平取厚真線 ・10月25日までに通行止め解除
町 道	1路線	9月6日～ 令和2年3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・通行止め9路線、片側通行8路線 ・令和2年3月31日までに全て解除

【公共交通機関】

種 別	路線・事業者	被害・復旧の状況
鉄 道	JR 日高線 (苫小牧～鷺川)	<ul style="list-style-type: none"> ・軌道変移・橋梁桁ずれ ・運行休止期間：9月6日～11月18日 ・11月18日までに復旧工事完了 ・11月19日から徐行運転により運行再開
バ ス	むかわ町営バス	平成30年9月18日から通常運行
	道南バス	千歳直行便は平成30年11月1日から通常運行

農林水産業の被害

【農業】

区分	被害状況等
農地	土砂・流木堆積、亀裂、隆起・沈下、法面崩壊
農業用施設	町・土地改良区関係：水路 85 力所、排水 1 条、農道 2 路線 4 箇所 国直轄事業関係：国営かんがい排水施設
生活関連施設	農業集落排水施設：管路浮上・沈下、マンホール 農業公園、農業集落施設
農業者等所有施設・農作物	農作物、生乳、家畜、施設・機械、鳥獣侵入防止柵
農業施設(JA 共同利用施設)	JA むかわ：穀類乾燥調製施設、農業用倉庫(4 棟)、馬铃薯集出荷施設 JA とまこまい広域穂別支所：農産物選果場、農業倉庫、精米所

【林業】

区分	被害状況等	
林道	林道施設災害復旧事業(10 路線 18 力所) 町単独復旧事業(21 路線 67 力所)	
森林	町有林 民有林	256 箇所(小班数)1,895ha(小班面積) 被害実面積 154ha(人工林 27ha、天然林 126ha、無立木地 1ha)
	道有林	210 箇所(小班数)3,683ha(小班面積) 被害実面積 375ha(人工林 72ha、天然林 302ha、無立木地 1ha)
その他	苫小牧広域森林組合：ペレット製品保管庫、トラックスケール	

【水産業】

区分	被害状況等
漁港(鷓川漁港)	漁港施設：道路(隆起、ひび割れ)、岸壁：上部工(段差、空隙) 北防波堤：上部工(ひび割れ)、漁船保管施設：塗装(ひび割れ)
その他の水産関連施設	鷓川漁協：施設荷捌所用地(ひび割れ)、段差、製氷機導水管亀裂

商工業の被害

区分	被害内容
商業	建物(41 件)、機械設備・什器備品等(65 件)、商品・原材料製品等(34 件)
工業	建物(16 件)、機械設備・什器備品等(24 件)、商品・原材料製品等(5 件)
その他	建物(9 件)、機械設備・什器備品等(10 件)、商品・原材料製品等(2 件)

被害金額

被害対象	被害金額
河川、道路、橋梁、公営住宅、学校施設、火葬場関連	約 20 億円
上下水道施設関連	約 4 億 3,000 万円
農地、農業用施設、営農施設関連	約 82 億 5,000 万円
商工業関連	約 18 億 4,000 万円
水産業関連	約 3 億 8,000 万円
林道関連	約 62 億 4,000 万円
社会福祉施設関連	約 1 億 9,000 万円
医療施設関連	約 6,000 万円
合計	約 193 億 9,000 万円

避難指示・避難勧告

【避難指示】

地区	発令目的	対象世帯・人数	発令日時	解除日時
二宮	土砂災害のおそれ	2世帯・4人	9月9日17:05	9月25日9:45

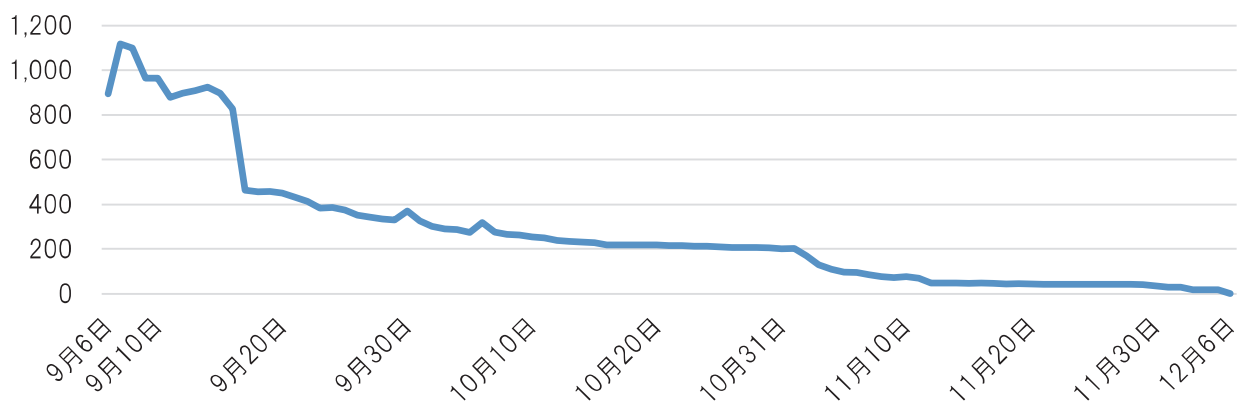
【避難勧告】

地区	発令目的	対象世帯・人数	発令日時	解除日時
穂別栄	土砂災害のおそれ	3世帯・9人	9月6日18:25	9月12日17:00
穂別	土砂災害のおそれ	12世帯・25人	9月7日12:30	9月22日9:45
二宮	土砂災害のおそれ	2世帯・4人	9月9日11:15	9月9日17:05
穂別	土砂災害のおそれ	2世帯・9人	9月9日18:50	9月16日16:45

避難所の状況

施設		最大避難者数	開設期間	備考
鷗川	産業会館	20人	9月6日	
	四季の館	270人	9月6日～11月12日	
	鷗川中央小学校	230人	9月6日～9月14日	
	鷗川高等学校	80人	9月6日	
	報徳館	83人	9月6日～9月15日	鷗川高等学校野球部員の避難(寮が半壊判定)のため再開所
		36人	11月13日～12月21日	
	川西第1集落センター	122人	9月6日～9月12日	
	川東第2集落センター	35人	9月6日～9月11日	
	春日生活館	20人	9月6日～9月11日	
	鷗川中学校	122人	9月6日～9月11日	
	デイサービスたんぽぽ(福祉避難所)	30人	9月6日～9月13日	
穂別	穂別町民センター	85人	9月6日～9月27日	
	仁和会館	14人	9月6日～9月15日	
	富内銀河会館	37人	9月6日～9月21日	
	穂別中学校	90人	9月6日～9月13日	
	中央生活館	21人	9月6日～9月15日	

〔避難者数の経緯〕



仮設住宅等

区 分		最多世帯数	最多人数
建設型仮設住宅 (プレハブ住宅)	大原	25 世帯	46 人
	美幸	10 世帯	23 人
借上型仮設住宅(みなし仮設住宅)		6 世帯	14 人
公営住宅一時使用		21 世帯	32 人
旧教職員住宅		5 世帯	6 人
鷗川高校仮設寮		36 世帯	36 人

教育機関の再開

学 校 名		授業再開日
小 学 校	鷗川中央小学校	9月18日
	宮戸小学校	9月18日
	穂別小学校	9月18日
中 学 校	鷗川中学校	9月18日
	穂別中学校	9月18日
高等学校	北海道鷗川高等学校	9月12日
	北海道穂別高等学校	9月18日

災害廃棄物処理の状況

【災害廃棄物処理業務】

事業費	81,197 万円	主な廃棄物	がれき(コンクリート・アスファルト)	5,887t
処理量	12,908.6t		木くず(解体木)	3,696t
			不燃物	1,246t

【被災家屋等解体業務】

	全 壊	大規模半壊	半 壊	合 計
自費解体	16 棟	1 棟	0 棟	17 棟
公費解体	144 棟	21 棟	144 棟	309 棟
合 計	160 棟	22 棟	144 棟	326 棟

関係機関等からの応援派遣

支援機関等		延べ人数	支援内容等
国土交通省		190人	TEC-FORCE 派遣(9月6日～10月9日) 被災状況調査、公共土木施設災害復旧の技術支援、橋梁緊急点検、気象情報提供など
北海道内	北海道	1,618人	平成30年9月6日～平成31年1月18日 災害対策本部運営支援27人、避難所運営支援1,371人、り災証明証交付支援65人、リエゾン派遣155人
	道内市町村	1,190人	平成30年9月6日～平成31年1月18日 り災証明証交付支援、被災家屋調査等
	中長期派遣	19人	北海道4人 計画策定(復興計画、まちなか再生計画)、災害復旧(漁港、土木) 苫小牧市4人 災害復旧(公共施設、下水道) 室蘭市1人 災害復旧(土木) 登別市1人 災害復旧(商業) 千歳市1人 災害復旧(下水道) 旭川市3人 災害復旧(土木)、生活再建支援 釧路市2人 災害復旧(土木) 遠軽町3人 災害復旧(土木、下水道)
	北海道立総合研究機構研究本部	1団体	むかわ町復興計画策定支援 むかわ町まちなか再生計画策定支援
対口支援等	秋田県	199人	9月6日～10月7日 災害対策本部運営支援75人、避難所運営支援84人、り災証明証交付支援34人、リエゾン派遣6人
	宮城県	298人	9月6日～10月7日 災害対策本部運営支援48人、避難所運営支援9人、り災証明証交付支援232人、リエゾン派遣9人
	鳥取県倉吉市	6人	9月13日～9月15日 証明証交付支援6人
その他(姉妹都市)	富山県砺波市	83人	9月8日～9月26日 リエゾン派遣31人、保健師52人
その他(にっぽん恐竜協議会)	兵庫県丹波市	36人	9月11日～9月24日 避難所運営支援ほか36人
	兵庫県丹波篠山市(旧：篠山市)	36人	9月11日～9月24日 避難所運営支援ほか36人
	熊本県御船町	42人	9月9日～9月24日 リエゾン派遣14人、証明書交付支援28人
自衛隊		4,664人	9月6日～10月12日 給水・給食・入浴支援、物資輸送 車両958台

※支援者の人数が判明している機関のみ記載

災害ボランティアの活動状況

設置日	平成 30 年 9 月 9 日～平成 31 年 3 月 31 日	
運 営	むかわ町社会福祉協議会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・被災住宅室内清掃 ・被災住宅ごみ等撤去(集積所まで運搬) ・炊き出し支援 ・図書館の本の移動と棚の整理 ・発達支援センター補助 ・災害ごみの分別・搬出 ・被災店舗の壁画イベント ・むかわ町復興支援ネットワーク(在宅訪問プロジェクト・ボランティアの全戸訪問) <ul style="list-style-type: none"> ・被災住宅危険箇所点検 ・支援物資仕分け・配布 ・震災支援関連ポスティング ・家具の移動・清掃 ・仮設住宅の引っ越し 	
ボランティア活動概況	延べ 3,103 人	629 件
社会福祉協議会からの派遣	市町村社会福祉協議会派遣：405 人(34 団体) 北海道社会福祉協議会派遣：32 人 ※平成 31 年 3 月 31 日現在	

復旧事業の進捗状況 (令和 3 年 1 月 31 日現在)

区 分	事業数	発 注		完 了		完了年月	備 考
		事業数	発注率	事業数	完成率		
河 川	16	16	100.0%	16	100.0%	R 2.9	
道路・橋梁	41	41	100.0%	41	100.0%	R 2.11	
公 園	2	2	100.0%	2	100.0%	R 1.7	
下 水 道	6	6	100.0%	6	100.0%	R 2.1	
農 地	1	1	100.0%	1	100.0%	H30.12	
農業用施設	4	4	100.0%	4	100.0%	R 1.7	農道を含む
林 道	18	17	94.4%	17	94.4%	R 3.12	
建 築	9	9	100.0%	9	100.0%	R 2.7	
水 道	1	1	100.0%	1	100.0%	R 2.3	
その他施設	9	9	100.0%	9	100.0%	R 2.5	
合 計	107	106	99.1%	106	99.1%		

ふるさと納税（代理受付）

4 団体	北海道、北海道白糠町、埼玉県深谷市、東京都世田谷区
------	---------------------------

主な支援制度等

主 体	制 度 等	
生活支援・弔慰金等	国	被災者生活再建支援制度
	北 海 道	災害弔慰金(北海道)
	むかわ町	災害弔慰金(むかわ町)
住まい・施設等に関する支援	国	災害救助法に基づく住宅の応急修理制度
	北 海 道	住家被害見舞金(北海道)
	むかわ町	むかわ町被災住宅応急修理費補助制度、耐震に係る補助
そ の 他	災害復興住宅融資、小・中学生の就学援助措置	
貸付・融資等による支援	災害援護資金の貸付、災害復興住宅融資(建築・住宅購入・補修)、母子父子寡婦福祉資金貸付、生活福祉資金特例貸付、緊急採用奨学金、奨学金の緊急採用(私立)、セーフティネット保証4号、災害給付貸付、小規模企業共済災害時貸付、経営環境変化対応貸付、被災中小企業・小規模事業者相談窓口	
減免等による支援	むかわ町国民健康保険及び後期高齢者医療制度に係る一部負担金減免、国民年金保険料の免除、水道料金及び下水道使用料の減免、電気料金等の特別措置、・電話料金の減免、確認申請等に伴う手数料免除、放送受信料の免除、保育料の減免、学生の国民年金保険料納付特例、奨学金・入学貸付金の返還猶予(私立)、住宅ローンの返済方法の変更	

義援金・支援金（令和3年1月31日現在）

区 分	金 額
町配分義援金	187,082,768 円
北海道配分義援金	471,260,000 円
支援金	149,748,532 円

国や北海道への 要望活動

厚真町、安平町、むかわ町は、復旧・復興に向けて必要な支援等を国や北海道へ要望しています。3町が合同で要望活動を行うことで、各段階での被災地の窮状や課題をより切実な問題として関係機関へ提起し、多くの支援へとつながりました。



◆国への主な要望活動

平成30年

9月25日

【厚真町】

- ①公共土木施設、水道および林道や農地・農業 用施設などの災害復旧全般について
- ②激甚災害に係る調査測量および災害復旧工事の適用期間の延長などについて

【むかわ町】

- ①激甚災害への指定について
- ②グループ補助金の適用について
- ③農林水産業被害への支援について
- ④被災家屋の解体と被災者住宅の早期対応について
- ⑤復興基金の創設について
- ⑥電力の安定供給について
- ⑦防災情報通信基盤の強化について
- ⑧JRR日高線の復旧について

- ③土砂災害への対策と、民有地内に堆積している土砂の撤去について
- ④産業廃棄物等処理事業費補助金の取扱い、補助対象について
- ⑤被災農業者の早期の経営再建、営農再開への支援について
- ⑥宅地耐震化推進事業の早期採択について
- ⑦国の技術的および人的支援について
- ⑧応急対応や復旧、民生支援、生活再建に要する地方財政措置について

【安平町】

- ①商工事業者等への税制上の優遇措置、融資など経営安定に向けた支援策について
- ②半壊以上の被災家屋等に係る公費解体の支援について
- ③移動設置が可能な「トレーラーハウス等」タイプの応急仮設住宅の整備について
- ④教育施設の早期復旧及び支援について
- ⑤高齢者施設の早期復旧及び支援について
- ⑥ライフラインの早期復旧について
- ⑦第一次産業の農林業被害等への支援について

10月27日

⑨歴史的建築物の再建支援について

1 災害復旧に向けた支援

- ①農林水産業 ②商業
- ③医療施設・高齢者施設 ④公共施設等
- ⑤宅地堆積土砂の排除および宅地耐震化推進事業
- ⑥災害廃棄物処理
- ⑦情報通信基盤
- ⑧人的支援

2 被災者への支援

- ①応急仮設住宅の入居者に対する支援
- ②住宅の移転・再建に対する支援
- ③高齢者の住宅再建に対する支援
- ④電力の安定供給について
- ⑤JRR日高線の復旧について
- ⑥復旧・復興に対する財政支援

11月12日

1 災害復旧に向けた支援

- ①農業 ②森林・林業振興 ③商業
- ④医療施設・高齢者施設 ⑤公共施設等
- ⑥宅地堆積土砂の排除および宅地耐震化推進事業
- ⑦災害廃棄物処理 ⑧情報通信基盤
- ⑨人的支援
- 2 被災者への支援

- ① 応急仮設住宅の入居者に対する支援
- ② 住宅の確保・移転・再建に対する支援
- ③ 高齢者の住宅再建に対する支援
- 3 電力の安定供給について
- 4 J R 日高線の復旧について
- 5 復興計画の策定支援
- 6 復旧・復興に対する財政支援

11月27日

- 1 災害復旧に向けた支援
 - ① 農業
 - ② 森林・林業振興
 - ③ 商業
 - ④ 医療施設
 - ⑤ 公共施設等
 - ⑥ 宅地堆積土砂の排除および宅地耐震化推進事業
 - ⑦ 災害廃棄物処理
 - ⑧ 情報通信基盤
 - ⑨ 人的支援
- 2 被災者への支援
 - ① 応急仮設住宅の入居者に対する支援
 - ② 住宅の確保・移転・再建に対する支援
- 3 復興計画の策定支援
- 4 復旧・復興に対する財政支援

令和元年

5月18日

- 1 住まい・くらしの速やかな再建
 - ① 被災者の住宅再建

- ② 道立鶴川高等学校・生徒寮の確保（むかわ町）
- ③ 災害等廃棄物処理の要件緩和
- 2 ライフラインやインフラの本格的な復旧
 - ① 専用水道の復旧（安平町）
 - ② 教育施設の復旧（安平町）
 - ③ 歴史的建造物の活用（むかわ町）
 - ④ 総合防災庁舎等の整備（むかわ町）
- 3 地域産業の持続的な振興
 - ① 農業振興
 - ② 森林・林業振興
 - ③ まちなかの再建（むかわ町）
- 4 復旧・復興に向けた支援
 - ① 補助事業の優先採択
 - ② 災害復旧事業債の地方債充当率の維持
 - ③ 財政支援
 - ④ 人的支援

7月9日

- 1 住まい・くらしの速やかな再建
 - ① 被災者の住宅再建
 - ② 道立鶴川高等学校・生徒寮の確保（むかわ町）
 - ③ 災害等廃棄物処理の要件緩和
- 2 ライフラインやインフラの本格的な復旧
 - ① 道路の維持補修
 - ② 情報通信インフラの強靱化（むかわ町）
 - ③ 教育施設の復旧（安平町）
 - ④ 歴史的建造物の活用（むかわ町）
 - ⑤ 役場庁舎等の整備（厚真町）
 - ⑥ 総合防災庁舎等の整備（むかわ町）
 - ⑦ 大規模土砂災害の緊急的な対策（厚真町）

9月27日

- 3 地域産業の持続的な振興
 - ① 森林・林業振興（厚真町）
 - ② まちなかの再建（むかわ町）
- 4 復旧・復興に向けた支援
 - ① 補助事業の優先採択
 - ② 災害復旧事業債の地方債充当率の維持
 - ③ 財政支援
 - ④ 人的支援
 - ⑤ 現行過疎法の失効に伴う新たな制度の創設
- 1 住まい・くらしの速やかな再建
 - ① 被災者の住宅再建
 - ② 加配教員措置等の継続
 - ③ 道立鶴川高等学校・生徒寮の確保（むかわ町）
 - ④ 災害等廃棄物処理の要件緩和
- 2 ライフラインやインフラの本格的な復旧
 - ① 道路の維持補修
 - ② 情報通信インフラの強靱化（むかわ町）
 - ③ 教育施設の復旧（安平町）
 - ④ 歴史的建造物の活用（むかわ町）
 - ⑤ 役場庁舎等の整備（厚真町）
 - ⑥ 総合防災庁舎等の整備（むかわ町）
 - ⑦ 大規模土砂災害の緊急的な対策（厚真町）
- 3 地域産業の持続的な振興
 - ① 森林・林業振興（厚真町）
 - ② まちなかの再建（むかわ町）
- 4 復旧・復興に向けた支援
 - ① 補助事業の優先採択
 - ② 災害復旧事業債の地方債充当率の維持

令和2年

- ③ 財政支援 ④ 人的支援
- ⑤ 現行過疎法の失効に伴う新たな制度の創設
- ⑥ 緊急防災・減災事業債の延長

10月16日

1 住まい・くらしの速やかな再建

- ① 被災者の住宅再建
- ② 加配教員措置等の継続
- ③ 道立鶴川高等学校・新生徒寮の確保（むかわ町）

2 ライフラインやインフラの本格的な復旧

- ① 道路の維持補修
- ② 情報通信インフラの強化（むかわ町）
- ③ 教育施設の復旧（安平町）
- ④ 歴史的建造物の活用（むかわ町）
- ⑤ 役場庁舎等の整備（厚真町）
- ⑥ 総合防災庁舎等の整備（むかわ町）
- ⑦ 大規模土砂災害の緊急的な対策（厚真町）

3 地域産業の持続的な振興

- ① 森林・林業振興（厚真町）
- ② まちなかの再建（むかわ町）

4 復旧・復興に向けた支援

- ① 補助事業の優先採択
- ② 災害復旧事業債の地方債充当率の維持
- ③ 財政支援 ④ 人的支援
- ⑤ 現行過疎法の失効に伴う新たな制度の創設
- ⑥ 緊急防災・減災事業債の延長

7月14日

1 住まい・くらしの速やかな再建

- ① 道立鶴川高等学校・新生徒寮の確保（むかわ町）
- ② 加配教員措置等の継続

2 ライフラインやインフラの本格的な復旧

- ① 教育施設の復旧（安平町）
- ② 庁舎等の整備に係る公共施設等適正管理推進事業債の適用延長（厚真町）
- ③ 胆振東部消防組合消防署支署の整備（むかわ町・厚真町）
- ④ 大規模土砂災害の緊急的な対策（厚真町）
- ⑤ 情報通信基盤の整備促進

3 地域産業の持続的な振興

- ① 森林・林業振興（厚真町）
- ② まちなかの再建（むかわ町）

4 復旧・復興に向けた支援

- ① 復興まちづくりの推進
- ② 財政支援 ③ 人的支援
- ④ 緊急防災・減災事業債による災害基盤の整備

8月25日

1 住まい・くらしの速やかな再建

- ① 加配教員措置等の継続
- ② ライフラインやインフラの本格的な復旧

11月5日

- ① 農業者への支援について
- ② 森林・林業振興への支援について
- ③ 人材支援について
- ④ 復興基金創設について

◆北海道への主要望活動

平成30年

- ① 教育施設の復旧（安平町）
- ② 庁舎等の整備に係る公共施設等適正管理推進事業債の適用延長（厚真町）
- ③ 胆振東部消防組合消防署支署の整備（むかわ町・厚真町）
- ④ 大規模土砂災害の緊急的な対策（厚真町）
- ⑤ 情報通信基盤の整備促進
- 3 地域産業の持続的な振興
- ① 森林・林業振興（厚真町）
- ② まちなかの再建（むかわ町）
- 4 復旧・復興に向けた支援
- ① 復興まちづくりの推進
- ② 財政支援 ③ 人的支援
- ④ 緊急防災・減災事業債による災害基盤の整備

⑤ 道立鶴川高等学校生徒寮の被災対応について（むかわ町）

⑥ グループ補助金の適用について

⑦ 歴史的建築物の再建支援について（安平町・むかわ町）

⑧ J R 日高線の復旧について（厚真町・むかわ町）

⑨ 災害復興公営住宅の建設と移転住宅団地開発への支援について

12月7日

東京オリンピック聖火リレーのルート選定

平成31年・令和元年

2月18日

1 生活再建等に向けた支援

① 医療施設 ② 教育施設 ③ 歴史的建造物

④ 宅地被害等に係る財政支援

⑤ 公園施設等

⑥ 総合防災庁舎の整備等に対する支援

2 産業振興に向けた支援

① 農業 ② 森林・林業振興 ③ 商業

④ 専用水道

3 復旧・復興に向けた支援

① 財政支援 ② 復興基金の創設

③ 人的支援

7月5日

1 住まい・くらしの速やかな再建

① 災害弔慰金等の支給に係る審査会に対する支援（厚真町）

② 道立鶴川高等学校・新生徒寮の確保（むかわ町）

2 ライフラインやインフラの本格的な復旧

① 道路の維持補修

② 情報通信インフラの強靱化（むかわ町）

③ 教育施設の復旧（安平町）

④ 歴史的建造物の活用（むかわ町）

⑤ 大規模土砂災害の緊急的な対策（厚真町）

3 地域産業の持続的な振興

① 農業振興（厚真町）

② 森林・林業振興（厚真町）

③ まちなかの再建（むかわ町）

4 復旧・復興に向けた支援

① 財政支援 ② 人的支援

10月4日

1 住まい・くらしの速やかな再建

① 加配教員措置等の継続

② 道立鶴川高等学校・新生徒寮の確保（むかわ町）

2 ライフラインやインフラの本格的な復旧

① 道路の維持補修

② 情報通信インフラの強靱化（むかわ町）

③ 教育施設の復旧（安平町）

④ 歴史的建造物の活用（むかわ町）

⑤ 大規模土砂災害の緊急的な対策（厚真町）

3 地域産業の持続的な振興

① 森林・林業振興（厚真町）

② まちなかの再建（むかわ町）

4 復旧・復興に向けた支援

① 財政支援 ② 人的支援

令和2年

7月14日

1 住まい・くらしの速やかな再建

① 道立鶴川高等学校・新生徒寮の確保（むかわ町）

② 加配教員措置等の継続

2 ライフラインやインフラの本格的な復旧

① 道路の維持補修

② 教育施設の復旧（安平町）

③ 大規模土砂災害の緊急的な対策（厚真町）

④ 道道上幌内早来停車場線松浦橋の架け替え（厚真町）

3 地域産業の持続的な振興

① 森林・林業振興（厚真町）

② まちなかの再建（むかわ町）

4 復旧・復興に向けた支援

① 復興まちづくりの推進 ② 財政支援

③ 人的支援

北海道新聞

号外

発行所：北海道新聞社
札幌市中央区大通西3丁目6
〒060-8711 電話：011-221-2111

安平震度6強



強い地震で大規模な土砂崩れが発生し、複数の家屋が倒壊した厚真町の現場—6日午前6時15分、厚真町吉野（本社ヘリから）

M6.7 道内全戸停電

6日午前3時8分ごろ、道央を中心に北海道の広い範囲で強い地震があり、胆振管内安平町で震度6強を観測した。札幌管区気象台によると、震源地は胆振地方中東部で震源の深さは約37キ。地震の規模はマグニチュード(M)6・7と推定される。道内では震度6強は現行の震度階級になった1996年以降、最大という。

道によると、胆振管内厚真町吉野の山林で斜面が数百メートルにわたって崩落、土砂崩れで複数の家屋が倒壊した。苫小牧市によると、同市有珠の沢町の82歳男性が自宅で転倒し心肺停止となった。室蘭署によると、6日未明、室蘭市の三菱製鋼室蘭特殊鋼の工場内で火災が発生、工場の消火隊などが消し止め、けが人の情報は無い。

北海道電力によると、道内の全火力発電所が停止し道内全295万戸が停電しているという。泊原発（後志管内泊村）は外部からの電力供給が停止したが、午前4時40分現在、非常用ディーゼル発電機を使い貯蔵する核燃料の冷却に必要な電気を確保している。

震度6強を観測したのは安平町早来北進と同町追分柏が丘。震度6弱を千歳市の新千歳空港、震度5強を苫小牧市、千歳市、恵庭市、札幌市北区、江別市、三笠市、空知管内長沼町、日高管内新ひだか町で観測した。気象台によると、津波の心配はないという。

▶購読申し込み専用電話 0120 - 464 - 104

▶詳細は北海道新聞をご覧ください

どうしん電子版

検索

厚真震度7 道内全戸停電

北海道胆振東部地震

土砂崩れ住宅倒壊

5人死亡、4人心肺停止
28人安否不明

全面通電まで1週間





JR全線運休

新千歳閉鎖

181校休校

通電火災に要注意

食料確保や情報収集「助け合いを」

北海道新聞 2018年(平成30年)9月7日朝刊

雨中 全力救助



続く余震 3800人態勢

厚真震度4

みずから雨警戒呼び掛け

建物被害の状況

被害種別	被害箇所	被害状況
全壊	30棟	道庁管内厚真町10棟、厚真町厚真町10棟、厚真町厚真町10棟
半壊	22棟	厚真町厚真町11棟、厚真町厚真町11棟
一部倒壊	10棟	厚真町厚真町5棟、厚真町厚真町5棟

北海道新聞 2018年(平成30年)9月8日夕刊

続く余震「眠れない」

避難なお2千人にじむ疲れ



避難生活が続くむかわ町の避難所。復入る子供を母親が心配そうに見つめた＝10日午後6時40分（金田邦康撮影）

【厚真】避難所生活から10日、むかわ町。避難所のむかわ町厚真町。札幌市を中心とする大規模な地震発生を余震とされる。「眠れない」「疲れがひどい」などの声がかかる。厚真町では、避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。

【むかわ町】避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。

最後まで安否不明だった男性が厚真町管内地区で見つかり、自衛隊車両に搬送する捜索隊員＝10日午前2時20分（野沢成久撮影）



最後まで安否不明だった男性が厚真町管内地区で見つかり、自衛隊車両に搬送する捜索隊員＝10日午前2時20分（野沢成久撮影）

【厚真】避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。

命救いたかった 捜索隊員

【厚真】避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。

【厚真町長「復興へ町民一丸」】避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。

水分摂取、歯磨きが大事

「避難所・避難生活学会」理事の根本忠志・日本赤十字北海道看護大教授の話
トイレを我慢するための水分不足やストレスで発症するエコノミークラス症候群や、節水で歯磨きを控えるなどして口の中の衛生状況が悪くなるなど起こる頭痛（こえん）性肺炎などへの注意が必要だ。場合によっては命を落とすこともある。2016年の熊本地震では揺れによる直接死が90人だったが、震災関連死は200人を超えた。関連死は防げる死なので十分気を付けてほしい。

胆振周辺 余震171回

【厚真】避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。

帰宅しぬ自宅

【厚真】避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。

定で、せしめるのが急な

【厚真】避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。避難所生活を送る避難者の中には、体調を崩し、夜間泣きだす人も出ている。



被災3町ボランティア続々 胆振東部地震 連休初日500人超

【厚真、むかわ、安平】胆振東部地震で大きな被害を受けた被災3町では、胆振東部地震被災3町ボランティア活動が、連休初日も続々と行われていた。ボランティア活動は、被災3町（厚真、むかわ、安平）の被災地を支援するために、19日（土）も多くのボランティアが参加した。ボランティア活動は、被災3町（厚真、むかわ、安平）の被災地を支援するために、19日（土）も多くのボランティアが参加した。

【むかわ、厚真、安平】胆振東部地震で大きな被害を受けた被災3町では、胆振東部地震被災3町ボランティア活動が、連休初日も続々と行われていた。ボランティア活動は、被災3町（厚真、むかわ、安平）の被災地を支援するために、19日（土）も多くのボランティアが参加した。

北海道新聞 2018年（平成30年）9月15日夕刊

被災地に応援職員次々 むかわ、厚真、安平に道内外から



豊富なノウハウ復旧の力に

「むかわ、厚真、安平」胆振東部地震で大きな被害を受けた被災3町では、胆振東部地震被災3町ボランティア活動が、連休初日も続々と行われていた。ボランティア活動は、被災3町（厚真、むかわ、安平）の被災地を支援するために、19日（土）も多くのボランティアが参加した。

厚真町	安平町	むかわ町
旭川市、網走市、紋別市、伊達市、増毛市、稚内市、宗谷市、白糠町、中川町、十勝管内（以上、十勝管内）	旭川市、網走市、紋別市、伊達市、増毛市、稚内市、宗谷市、白糠町、中川町、十勝管内（以上、十勝管内）	旭川市、網走市、紋別市、伊達市、増毛市、稚内市、宗谷市、白糠町、中川町、十勝管内（以上、十勝管内）

北海道新聞 2018年（平成30年）9月22日朝刊

胆振東部地震 被災地支援 自治体動く



熊本、兵庫の職員 経験アドバイス

【むかわ、厚真、安平】胆振東部地震で大きな被害を受けた被災3町では、胆振東部地震被災3町ボランティア活動が、連休初日も続々と行われていた。ボランティア活動は、被災3町（厚真、むかわ、安平）の被災地を支援するために、19日（土）も多くのボランティアが参加した。

厚真で震度4

【厚真】胆振東部地震で、厚真町で震度4を観測された。被災地では、ボランティア活動が盛んに行われており、被災者の生活支援に努めている。

北海道新聞 2018年（平成30年）9月14日夕刊

厚真36人の足跡継ぎ前へ

慰霊式に遺族ら577人

胆振東部地震100日

【厚真】最大震度7を観測し大規模な土砂崩れなどにより41人が犠牲となった胆振東部地震の発生から100日たった15日、最も多い36人の犠牲者を出した胆管内厚真町で町主催の慰霊式が行われた。遺族ら577人が集まった人々の冥福を祈り、まちの復興を誓った。(小宮美秋)



胆振東部地震で犠牲になった厚真町の犠牲者36人の追悼のため開かれた慰霊式＝15日午前10時5分、厚真町総合福祉センター（中本翔撮影）

された私たちがしっかりと伝えていく、町民「丸」となって必ず復旧、復興を成し遂げ、支援いただいたみなさま

まに恩返ししたい」と式辞を述べた。遺族を代表し、父岡崎さん(86)と母藤子さん(81)を亡くした団体職員の高島武夫さん(57)がお別れの言葉を述べた。高島さんは「今回の地震では、厚真の基幹産業である農業に縁のある方ばかりが亡くなりました。突然の別れは信じがたく残念でならない。今日の慰霊式を契機に、地域内と、他地域を超えた絆を大切にしたい」と述べた。

北海道新聞 2018年(平成30年)12月15日夕刊

早来中仮設校舎が完成

冬休み明けに利用開始

【安平】胆振東部地震で校舎が損壊した早来中のアレハアの仮設校舎が町早来大町の町有地で完成した。3学期が始まる来年1月15日から仮設校舎の利用を開始する。生徒たちは地震後、早来町民センターを借りて授業を受けており、ようやく自分たち専用の校舎で学べるようになる。(千葉佳奈)

仮設校舎は、階建て延べ床面積約1450平方メートル、早来中から約800平方メートルに建設された。1、2階にはそれぞれ普通教室2室ずつを設置し、職員室、保健室、技術室、音楽室を完備する。寒冷地仕様で壁や床、天井に断熱材



使用し、窓は二重サッシ。車いすの生徒にも対応できるように1階はバリアフリー化し、校舎入り口にスロープを設置した。建設費は約1億4400万円。早来中は地震によって校舎の床が沈み込んだり、体育館の暖房用ダクトが落下してたりする被害を受け、応急危険度判定では立ち入り注意が必要な「要注意」とされた。このため、避難所にもなっていた早来町民センターの3階会議室を借りて授業を再開し、体育は早来小体育館に出向いて行ってきた。

完成した早来中の仮設校舎
て町民センターで授業を受けられた。
1年の松原翔馬さん(13)は「町民センターでの授業は落ち着かなかつた。新しい校舎の技術室でパソコンの授業を受けるのが楽し」と話した。

北海道新聞 2018年(平成30年)12月26日朝刊

復興へ厚真盛り上げ

太鼓や花火楽しむ

イベントに町内外から5千人

【厚真】昨年9月の胆振東部地震で大きな被害を受けた胆管内厚真町で復興イベント「絆〜手と手を繋いで頑張ろう厚真」が27日開かれた。地震後、避難所として使われた町総合福祉センターを会場に、地元団体による太鼓演奏や歌手の山本リンタさんのコンサートがあったほか、来場者が地震の犠牲者に黙とうをささげた。(小宮美秋)



夜には、札幌市のNPO法人「モエレ沼芸術」が、提灯の尺玉花火12発が打ち上げられ、華やかにファイナルを飾った。家族4人で訪れた厚真町の会井綾(47)は「多くの催しがあったけど、うちも喜んでいたら、徐々にはあるが、町が復興へ進んでいる気がする」と話した。

北海道新聞 2019年(平成31年)1月28日朝刊

厚真の仮設店舗完成 4事業者に鍵引き渡し



被災3町 整備完了

【厚真】胆振東部地震で大きな被害を受けた事業所のために町が建設してきた仮設店舗が11日完成し、4事業者に鍵の引き渡しが行われた。鍵を受け取った事業者は荷物の搬入などを始めた。これで厚真、安平、むかわの被災3町に整備された仮設店舗計4棟10店舗分がすべて完成し、事業者に鍵が引き渡された。

厚真町の仮設店舗は町中心部の京町の町商工会横に

1棟建設し、木造平屋建てで延べ床面積は約1400平方メートル。床や壁に断熱材を使用した寒冷地仕様だ。建設費は484.9万円で、中小企業基盤整備機構が全額補助する。入居期限は2022年3月末で家賃は無料。

入居するのはカフェとヨガスタジオのリラクゼーション業、リンパマッサージ業、整体院、個人輸入事業、事務所の4事業者。この日は全事業者が鍵を受け取った。

町豊沢のルーラルビレッジで整体院を営む丸山聡史さん(46)は施用のベッドや椅子を搬入し、早速予約を受けていた患者の施術を始めた。

丸山さんは「傾いた店舗ではなく、しっかりとした所で無事再開できたことがとてもうれしい。大好きな厚真のため頑張りたい」と笑顔だった。

仮設店舗は安平町では1棟3店舗、むかわ町では2棟3店舗が整備されている。

(斎藤佑樹)

鍵の引き渡しを受けた仮設店舗に施用のベッドを運び入れる丸山聡史さん

北海道新聞 2019年(平成31年)3月12日朝刊



被災地照らす3万5千の笑顔

早来小児童 写真集める

体育館の壁やステージに展示された笑顔の写真をみる早来小の6年生(金田翔)

【安平】胆振東部地震で大きな被害を受けた胆振管内安平町の人口と同数の笑顔の写真を集めようと、町立早来小6年生26人が取り組んできた「8000人の笑顔プロジェクト」で、目標を大きく上回る3万4876枚が集まった。

6年生は「ボランティアや町役場の人たちに感謝を伝え、まちの人を元気づけたい」と、昨年11月から町内外で笑顔の人の写真を撮影してきた。

集めた笑顔の写真を学校体育館の壁やステージに展示した17日の報告会で、6年生4人が写真の総数を書いた画用紙を掲げて発表すると、町内外から参加した約100人から拍手や歓声が起った。

6年生は「1人ずつ努力が結果に結びつくことが分かった」「地震があっても変わらなかったのは町民の人たちの優しさだった」などと、プロジェクトを通して学んだことや感想を語った。小貫章衣さん(12)は「8千人の写真を集めるのが最終目的ではなく、安平町を元気づけたい」という思いでいっぱいだった。結果を知り、本当にうれしかった」と笑顔で話した。

(千葉佳奈)

北海道新聞 2019年(平成31年)3月13日朝刊

復興まちづくり計画へ議論 安平で「町民懇談会」始まる



町民まちづくり懇談会で復興への意気込みを語る及川町長

【安平】胆振東部地震から21日まで町内4地区で開かれた復興まちづくり計画策定に向けた「町民まちづくり懇談会」が17日夜、遺残公民館で始まり、及川秀一郎町長らが生活再建などに向け町民と意見交換した。

町民まちづくり懇談会が21日まで町内4地区で開かれた復興まちづくり計画策定に向けた「町民まちづくり計画」は、復興まちづくりの方向性を示すもので、町総合計画の一部に位置付ける。町民の意見を反映させるため、18日夜には早来町民センターでも開催。懇談会はいずれも午後6時半から、20日に追分公民館、21日に安平公民館で開く。

(千葉佳奈)

北海道新聞 2019年(平成31年)6月19日朝刊

むかわ復興7年計画

町が原案 公営住宅整備など55項目

【むかわ】胆振管内むかわ町は、昨年5月の胆振東部地震で被災した町の復興計画の原案をまとめた。住居の自力再建が困難な被災者向けに、公営住宅など再建を支援する55項目の取組を盛り込んだ。

計画期間は、09、1、25 活再建では、災害救助法で年度の7年間、被災者の生入居期間が年間とされる。

仮設住宅の住民へのアンケートなどを踏まえ、20年度に公営住宅12戸を整備するほか、地震で損壊した町営住宅12戸を建て直すこととした。損壊した川内野球場も再建する方針。保健師らによる被災者の心のケア対策や訪問事業の充実も盛り込まれた。

防災機能の強化では、海岸に近い津波想定地域内にある胆振東部消防組合消防署川内支署を24年度までに内陸部に移転新築する。町営も浸水想定地域にあることから、24年度までに被災時に対応できる防災倉庫を整備することも明記した。

北海道新聞 2019年(令和元年)7月4日朝刊

公営は駅前、町営は跡地に

本年度中に実施設計

むかわ町の被災者向け住宅建設地



【むかわ】町は、胆振東部地震の被災者向けに20年度中に整備する公営住宅計30戸の建設予定地を明らかにした。公営住宅は駅前、町営住宅は跡地に整備し、解体している町営住宅の跡地にそれぞれ建設する。本年度中に実施設計を終了させる方針。

町は、7月に復興計画を策定。自ら被災を受け、自力再建の難しい町民向けに新たに公営住宅18戸の建設で、地震で全壊した町営住宅12戸の再建を本年度中に完了することを明記した。町にも、公営住宅の建設地は既存の公営住宅の隣の西側の2,571平方メートルの敷地を確保する方針。公営住宅法に基づき整備し、入居に際して所費限度を定める。

町営住宅は、解体を進めている跡地の町営地(17,882平方メートル)に3棟建て1棟を建設する予定。所費限度は設けず、現在仮設住宅で生活し、町営住宅に戻ることを希望している元住民9世帯に優先して入居してもらう。災害発生後、住居を失い、同じ場所に住居を建設する際に、国が建設費の3分が補助する。小規模住宅地改修事業などを活用する。

北海道新聞 2019年(令和元年)9月6日朝刊

安平町「半壊以上」の住宅新築に100万円

生活再建 最優先に

項目	具体的な対応
住宅を解体する世帯(半壊以上)	100万円助成
住宅修理(半壊以上)	上限20万円助成
住宅を解体し、モバイルハウスを購入(半壊以上)	100万円助成
住宅が損壊した世帯(半壊以上)	一時入居の期間を1年から2年に延長
町内に避難する世帯が町内に引っ越す	上限10万円助成
新規整備	特定公共賃貸住宅(特公営)整備 民間アパート建設費助成

【安平】胆振東部地震で大きな被害を受けた町は、年内の復興まちづくり計画策定に向け、検討している支援策をまとめた。半壊以上と判定された住宅を解体し、新築する世帯に100万円を支援するなど、被災者の生活再建を最優先に対応する項目を掲げた。

支援策 12月以降実施

復興まちづくり計画は町に交付。仮設住宅の下レイアウトやモバイルハウスで暮らす世帯に対し、購入費として100万円、住宅再建を望む町民連帯者が町内に戻って来よう、引っ越し費用を10万円を助成する。

支援策は、町に寄せられた交付を元にした仮設住宅を財源とする。仮設住宅の再建を希望する町民に、今年8月1日に町内で開かれている町民の意見を反映し、修正した内容を11月に再確認する。事業計画を策定する月以降に実施する見通し。

北海道新聞 2019年(令和元年)9月7日朝刊

被災3町復興の歩み

胆振東部地震から1年

仮設暮らし なお333世帯

大規模な土砂崩れが 起きた厚真町野地区 山工事が進む



北海道新聞 2019年(平成31年)9月5日朝刊

生活再建 長期支援を

胆振東部地震 1年の歩み

- 2018年9月■
 - 6日午前3時7分 胆振東部を震源とするマグニチュード(M)6.7の地震が発生。厚真町で震度7、安平町で震度6強、日高町門別、平取町で震度6弱、苫小牧市で震度5強を観測
 - 13日 安平町の道分小が道分中学校を閉校し、授業を再開。早業中は14日から早業町民センターで再開。18日には厚真、むかわ町の全小中学校でも再開
 - 17日 J R空室線沿ノ線一岩見が駅が運転を再開
 - 19日 停電で止められた苫小牧市白鳥王子アイスアリーナが営業を再開
 - 24日 日高町の門別競馬場で道産ホッカイドウ競馬のレースが再開。10月2日にはナイトー営業も再開
 - 27日 イオン苫小牧店が約3週間ぶりに全面再開
- 10月■
 - 1日 厚真町青少年センターの図書室が再開。10日には安平町の早業、道分両地区の図書室も再開
 - 2日 厚真、むかわ町の小中学校で給食が再開
 - 5日 厚真やむかわ町種別、平取で震度5弱を観測する地震が発生
 - 9日 厚真町の水道管復旧が完了し、地震に伴う道内の断水はすべて解消
 - 10日 北電の苫原厚真火力発電所の全3基が復旧
 - 14日 陸上自衛隊第7師団(千歳)による被災地の給食支援が終了
 - 20日 新ひだか町のイオン静内店が営業を再開
- 11月■
 - 1日 厚真、安平、むかわ各町で第1期分の応急仮設住宅への入居開始一写真



- 10月2日 小中学校で給食再開
- 11月1日 仮設住宅の入居始まる
- 12月2日 仮設住宅の仮設仮設住宅の入居が開始
- 12月15日 厚真町の第2期応急仮設住宅の入居が開始
- 12月15日 苫小牧市が高丘公園(第一公園)の復旧が完了し市民の憩いの場を全面再開
- 12月15日 安平町のトレーラーハウス型の応急仮設住宅で入居開始
- 12月16日 厚真町の避難者がゼロとなり全避難所を閉鎖
- 12月21日 むかわ町の釧路高野球部員が避難所から退去。町内の避難所はゼロになり全避難所を閉鎖。これで道内の避難所はすべて解消
- 2019年1月■
 - 15日 安平町の早業中がプレハブ仮設校舎で授業開始一写真
- 2月■
 - 1日 苫小牧市の商業施設「MEGAドン・キホーテ苫小牧店」が約5か月ぶりに全面再開
 - 21日 厚真町で最大震度6弱を観測する地震が発生。厚真町豊沢地区で最大150戸が一晩断水
- 3月■
 - 31日 地球体験館が閉館
 - 7月31日 むかわ町、復興計画策定
- 3月■
 - 1日 むかわ町の仮設店舗が完成一写真
 - 5月 厚真町では11日にそれぞれ完成し、被災3町で計4棟10店舗が整備
- 4月■
 - 3日 むかわ町の特別避難所が約7か月ぶりに再開
 - 6日 厚真町で被災建物の公費解体に着手
 - 12日 厚真町吉野地区で被災した吉野神社の跡地付近で最後の神事
 - 16日 厚真町議選が告示。定数11に対し10人が無投票当選。初の定員割れに
 - 19日 安平町の道の駅「あひらDS1(デゴイチ)ステーション」開業。6月14日に高気圏開通(SL) 移設
- 5月■
 - 1日 むかわ町の生花店「花よし藤川店」が被災3町で初の再建店舗で営業再開
 - 10日 安平町で被災建物の公費解体に着手
 - 20日 むかわ町の鶴の舞ビッグゴルフ倶楽部くらぶが復旧を断念し、閉鎖を決定
- 6月■
 - 24日 厚真町バスカップの初乗りで過去最高値が付く
 - 29日 厚真町は避難所の仮設入浴施設で倒れ、死亡した町内女性(81)＝当時＝を災害関連死に認定
- 7月■
 - 10日 安平町スポーツセンターの温水プールが10か月ぶりに営業再開
 - 19日 厚真町が森林再生に向けた「森林再生・林業復興検討会」を設営
 - 31日 むかわ町が被災3町で初めて復興計画を策定
- 8月■
 - 21日 厚真町は災害公営住宅を早ければ12月に着工する方針を固める
 - 30日 安平町は早業地区の避難指示を早ければ11月上旬にも、道分地区の避難指示を来年2月末までに全面解除する見通しを示す

北海道新聞 2019年(平成31年)9月5日朝刊

厚真町・安平町・むかわ町 平成30年北海道胆振東部地震記録誌

令和3年3月発行

発行 厚真町・安平町・むかわ町北海道胆振東部地震記録誌作成委員会
編集 厚真町まちづくり推進課
安平町総務課
むかわ町総務企画課
協力 北海道新聞社

©厚真町・安平町・むかわ町北海道胆振東部地震記録誌作成委員会 2021 printed in Japan



厚真町



安平町



むかわ町

厚真町・安平町・むかわ町 平成30年北海道胆振東部地震記録誌

令和3年3月発行